



七畳夢空間

しちじょう ゆめくうかん

Shichijo-Yumekuukan

お座敷

LAYOUT

敷設記

第6回

ふちんかん

現在自宅7畳間に敷設中の鉄道模型お座敷レイアウトについてつれづれ綴ってみる。
今回は照明装置や背景などの周辺環境を紹介したい。

敷設形態について

鉄道模型の敷設形態として、大きく固定式か組み立て式かに分けることができ、それぞれにメリット・デメリットがある。

固定式は名前の通り、一度固定したレイアウトの変更はできないし、メンテナンスも面倒である。一方で運転開始までノータイムで片付けも不要である。組み立て式は、毎回レイアウトを変更することができるが、そのつど敷設・撤去する時間が必要であり、レールが損傷する機会も増える。

敷設形態において、レイアウトの自由度と準備時間はトレードオフの関係にある。

今回7畳いっばいに敷設した自宅レイアウトは半固定式とした。レールを敷設する基盤はほぼ固定しているが、レールは置いているだけで変更可能、レールは敷設済みなのですぐに運転できるという、いいとこ取りを狙った形態である。

シーナリーについて

YouTubeには、固定式レイアウトを紹介した動画が数多くアップされている。線路だけでなく、周辺や背景（ジオラマ）も作り込まれていて、私も学ばせていただいている一人である。固定式は完成するまでに大量の時間と費用がかかる。その努力を多くの人に見て欲しいという気持ちはとても理解できる。

一方で自分がレイアウトを敷設するにあたり、固定式でやるかということ、固定式のデメリットだけでなく、部屋いっばいのジオラマ作りという作業量に二の足を踏んでしまう。若い頃から集合式レイアウトに取り組んでいて、WOO内では圧倒的に製作してき



た自負はあるが、限られたスペースでも、完成度を上げるには相当な熱量がいることも知っている。正直、7畳の空間をジオラマで埋め尽くすだけの熱量は無い。

それに実際、敷設した後から、アイテムが増えたりアイデアがわいてきたりして、レイアウト変更を頻繁に行っている。固定してしまうとそれがやりにくくなってしまふ。

どうしてもシーナリーを必要とする場面は、既存の組み立て式レイアウトを組み込んだり、アタッチメント方式で追加することで対応することにした。固定式レイアウトのような写真映えするジオラマは望むべくもないが、それは列車を走らせるのに絶対必要な条件でもないのである。

また人には想像力がある。運転している自分が「そのつもりで見る」ことができれば良いのである。例えばプラレールでも、山(トンネル)や踏切というシーナリーグッズがある。人は線路のまわりに緑色のこんもりしたものを見れば、記号的にそれを山と捉えるし、遮断機や警報器のようなものがついていけば、それは踏切と捉えられるのである。

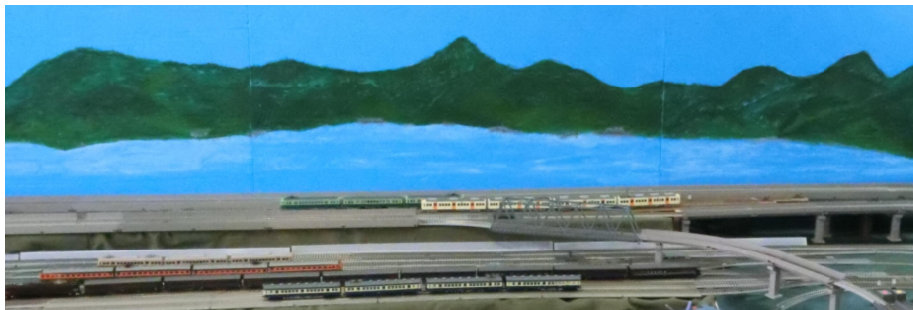


ということで、半固定式でほぼレールだけというレイアウトにすることになった。それでも自分を騙す程度の周辺環境の整備はしているので、以下で紹介したい。

背景

前回の半固定式レイアウトのころから、カメラカーを走らせるようになって、背景が白い壁では味気ないと感じていた。(もちろん画像処理で白をクロマキー化して背景画像を追加することもできるだろうが、それもちょっと) そこで青色のポリスチレンボードを大量に買って、空に見立て、脱脂綿等で雲を表現したりしていた。

今回はそのボードを再利用して、山と湖をイメージした絵を描いて正面に貼った。

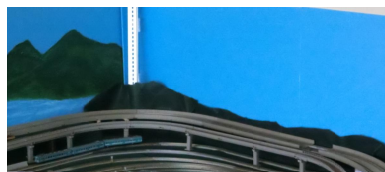




正面右側の壁面にもボードを続け、手前に緑色の雑草防止シートを若干膨らませて置くことで山の続きとした。

正面左側は窓なので、外光を取り入れつつ、光を和らげるための透過カーテンと、下部にギザギザに切り込みを入れたボードを並べることで、空と遠くにある高い山を表現した。(窓側のボードは日焼け防止の意味もある)

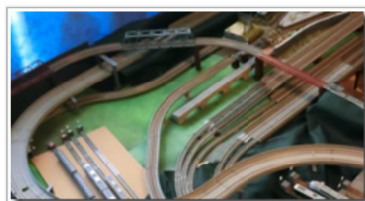
その手前に雑草防止シートを置くことで、近くの低山を表現した。



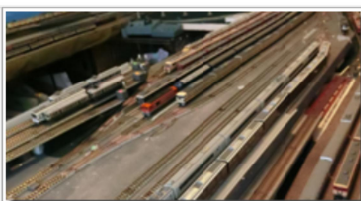
地表面

基本は塗りと敷きである。

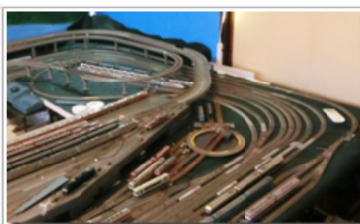
基盤はスタイロフォームなのでいい感じに小さな凹凸があり、アクリル絵の具を塗るだけで、舗装面や草地の表現ができる。今回も前回のレイアウトで塗ったボードをそのまま再利用している所がある。



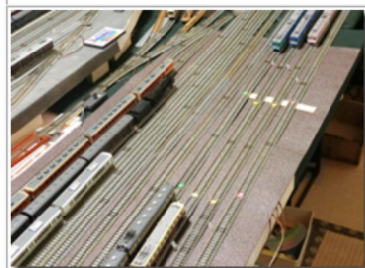
直接緑色を塗装した面



高架ヤードも灰色を直接塗装



緑色は全て雑草防止シート



手前ヤードは茶色マット



正面は端切れの布



大活躍の雑草防止シート

いっぽう現在のレイアウトはポイントや給電でけっこう配線があり、ボードに穴を空ける箇所が増えてきた。あまりに多いと目障りである。そこで今回は、配線を隠す意味もあり、緑色の雑草防止シートを敷くことにした。このシートは100均のセリアで購入できるもので、つや消しの深緑色でざらざらの凹凸があり、遠目には草地に見える。

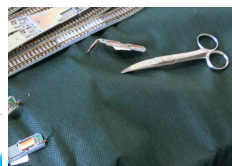


七畳夢空間 自宅レイアウト敷設記



また簡単に切り込みを入れることができるので配線も楽で、さらに隠した配線のため良い感じに起伏ができ、のっぺりとした感じになりがちな平面に変化をつけてくれる。

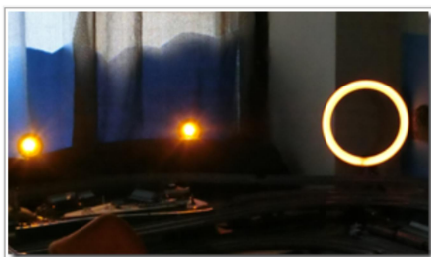
レイアウト左には、中に緩衝材を詰めて小山を作った。



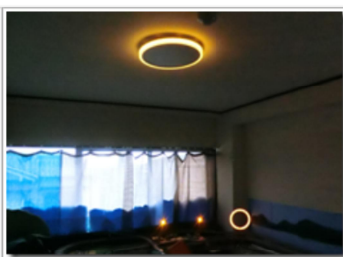
照明

基本的な光源は、窓からの直接光と天井のシーリングライトだが、カメラカーを走らせると光量が不足していることに気づく。そこで最も暗くなる正面右端は、LED電球を使って高いところから照らしている。

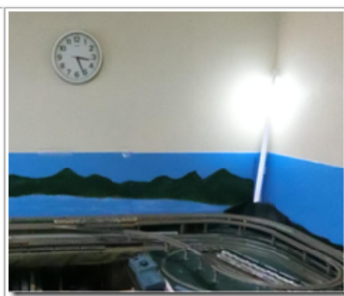
オレンジ色のLED照明2灯と多色LEDリングライトは、夕陽のイメージで使用。組み立て式レイアウト部を照らすように配置している。数少ないシーナリーがある部分なので、少しはライブ感が増すのではないかと。シーリングライトは模型部屋用にオレンジの常夜灯が周囲に点くタイプを購入した。



夕陽ライトと多色LEDライト



シーリングライト・外光・LEDライト



白色LEDライト(60W相当)

ほかにもクリップで脱着ができるタイプや据え置き型のLEDライトがある。これらは撮影時などにスポット的に利用している。

以上、固定レイアウトのようなジオラマには到底及ぶべくもないが、これらのアイテムで私は十分に騙されている。それでいいのだ。

(第6回終わり)

次回は、車両について紹介する予定です。